

平成28年度 村の決算状況

平成28年度の一般会計の決算額は、歳入が50億6,912万円（対前年度比20.9%減）、歳出が47億6,378万円（対前年度比20.6%減）となっており、歳入歳出差引額は3億534万円で、翌年度に繰り越すべき財源を除き1億8,885万円の黒字決算となりました。

また、一般会計及び各特別会計を合わせた総額は、歳入で73億4,606万円、歳出で68億2,380万円、翌年度に繰り越すべき財源を除き4億577万円の黒字決算となりました。

（単位：万円）

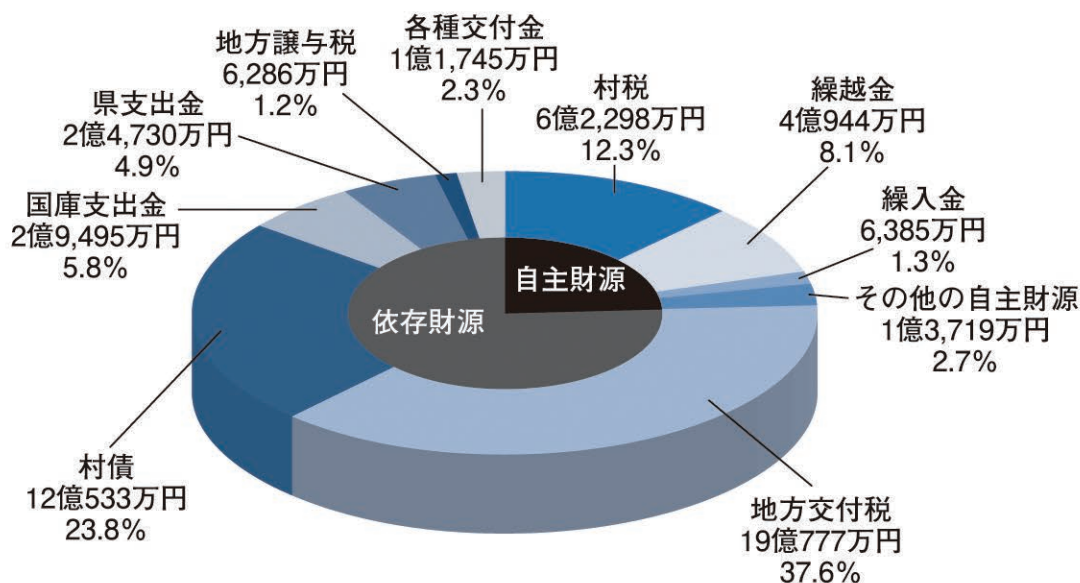
会計名		歳入決算額	歳出決算額
一般会計		50億6,912	47億6,378
特別会計	国民健康保険	13億305	11億1,572
	簡易水道事業	2億2,448	2億2,214
	農業集落排水事業	1億2,525	1億2,351
	後期高齢者医療	4,398	4,387
	介護保険事業	5億8,018	5億5,478
合計		73億4,606	68億2,380

村税は、前年度決算額と比べ1,877万円増加しました。国庫支出金については、道路等整備事業に係る社会資本整備総合交付金事業が2,176万円増となりましたが、ひらた清風中学校建設事業の減少により国庫支出金が1億6,611万円減少、また地方債が6億117万円減少し、全体で13億3,673万円減少しました。

歳入を性質別で見ると、村民のみなさんが納めた「村税」や、規則等で定めた基準で賦課徴収できる「分担金及び負担金」「使用料及び手数料」、前年度の繰越金などの『自主財源』が12億3,346万円で全体の24.3%、国や県の基準等で交付される「地方交付税」「国県支出金」などの『依存財源』が38億3,566万円で全体の75.7%となっています。

一般会計 歳入

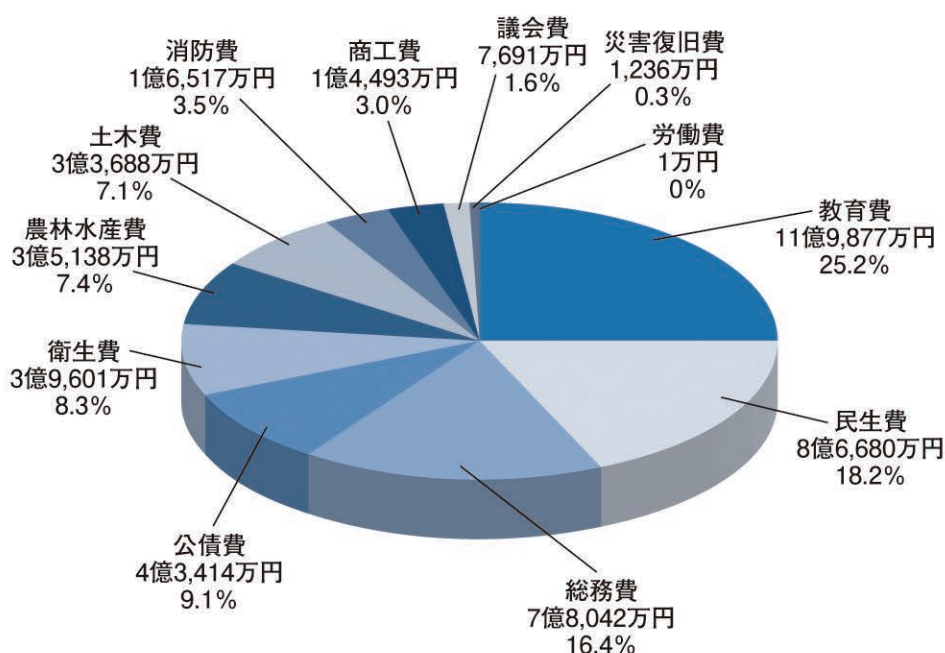
一般会計歳入決算の内訳



一般会計 歳出

民生費は、経済対策として臨時福祉給付金の支給により6,259万円増加しましたが、消防費が防災行政無線デジタル化整備事業の完了により3億1,352万円の減少、教育費は、ひらた清風中学校造成工事等の完了により7億9,375万円の減少となり、全体で12億3,262万円減少しました。

目的別で見た歳出



平成28年度に実施した主な事業

第5次平田村総合計画 3つの基本目標

●心やすらぐ あんしん快適の平田村

- ・臨時福祉給付金等支給事業
- ・乳幼児・子ども医療費助成事業
- ・赤ちゃん誕生祝金・子育て支援金支給事業
- ・総合健康診査事業（健康診査、各種がん検診等）
- ・あじさい公園植栽整備事業

●心おどる にぎわい交流の平田村

- ・ひらた清風中学校建設事業
- ・多面的機能支払交付金事業（地域における農地と水を守るための交付金）
- ・社会資本整備総合交付金事業（村道等整備事業）
- ・ふくしま森林再生事業
- ・体育振興事業（ふくしま駅伝等助成）

●心つながる ふれあい協働の平田村

- ・生コン舗装支給事業
- ・石川地方広域連携事業（婚活事業）
- ・地域づくり支援事業



生コン舗装支給事業



ひらた清風中学校



総合健康診査

ひらたさんちの家計簿

村の財政と家庭の家計では、仕組みが異なりますが、一般会計歳入歳出決算額を 1000 分の 1 に縮小し「ひらたさんち」の家計に例えてみました。

一般会計歳入決算額 50 億 6,912 万円 ⇒ 家計収入額 506 万 9 千円

一般会計歳出決算額 47 億 6,378 万円 ⇒ 家計支出額 476 万 4 千円

【収入】

(単位：千円)

区分	村の収入項目	金額	前年度 比較増減
給料	基本給 村税	623	19
	諸手当 地方交付税 譲与税 交付金	2,088	△28
パート収入	分担・負担金 使用・手数料 諸収入 財産収入 寄附金	137	△13
祖父母からの 仕送り	国県支出金	542	△249
ローン (借入金)	村債	1,205	△601
貯金の取崩し	繰入金	64	△140
前年度の残金	繰越金	410	△325
収入合計		5,069	△1,337
貯金残高	基金残高	1,386	267



今年は、ローン（借入金）をして、家の増築をしたよ。これは、何十年も使う施設の建設費用を後の世代の人たちにも負担してもらおうという意味もあるんだよ。昨年の残ったお金で積立したから貯金は少し増えたね。

【支出】

(単位：千円)

区分	村の支出項目	金額	前年度 比較増減
食費	人件費	684	19
医療費、学費 など	扶助費	385	43
ローン返済	公債費	434	△36
光熱水費など 雑費	物件費	578	△124
行政区の 区費など	補助費	490	13
車などの 修理代	維持補修費	53	△11
子どもへの 仕送り	繰出金	463	2
家の増改築	普通建設 事業費	1,323	△1,396
貯金	積立金	329	237
株式投資・ 貸付金	投資及び 出資・貸付金	5	1
地震・大雨 災害時の応急処置	災害復旧費	20	20
支出合計		4,764	△1,232
ローン残高	村債現在高	6,787	815



今年は、家の増築をしたので、費用が増えてしまったね。ローンの返済は減っているけど、今年借入れしたお金の返済が来年から始まるね。

健全化判断比率と資金不足比率の状況

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）において、毎年度、実質的な赤字や将来負担などを表す指標（健全化判断比率）と、公営企業ごとの資金不足額を表す指標（資金不足比率）を監査委員の審査を受け、議会に報告し公表しています。

平成 28 年度決算に基づく本村の健全化判断比率、資金不足比率は早期健全化基準を下回りました。実質公債費比率（3 箇年平均）は、前年度と比較し改善しており、将来負担比率も大規模事業による村債現在高は増えていますが、基金残高も増加したため、前年度と比較し改善しています。

健全化判断比率報告

各比率	説 明	本村の比率	備 考
実 質 赤 字 比 率	一般会計などを対象にした実質赤字額を、村の一般財源の標準的な規模を表す「標準財政規模」に対する比率	－（15.00％）	該当なし
連結実質赤字比率	全ての会計を対象にした実質赤字額の標準財政規模に対する比率	－（20.00％）	該当なし
実 質 公 債 費 比 率	一般会計などが負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本にした額に対する比率	9.5％（25.0％）	前年度比 △ 0.6％
将 来 負 担 比 率	一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本にした額に対する比率	93.4％（350.0％）	前年度比 △ 4.6％

※（ ）の数字は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく早期健全化基準値です。

資金不足比率報告

特別会計の名称	説 明	資金不足比率（％）	備 考
簡易水道事業	公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する比率	－	該当なし
農業集落排水事業		－	該当なし

村債現在高

平成 28 年度は、ひらた清風中学校建設事業等の財源として借入れたため 7 億 4 千万円村債現在高が増加しました。この借入は、過疎対策事業債、緊急防災・減災事業債を活用しており、元利償還金の 70％が地方交付税で措置されます。

村債の現在高

一 般 会 計	現在高	特 別 会 計	現在高
過 疎 対 策 事 業 債	21 億 6,990 万円	簡 易 水 道 事 業 債	8 億 4,505 万円
臨 時 財 政 対 策 債	19 億 5,233 万円	農 業 集 落 排 水 事 業 債	8 億 1,675 万円
緊急防災・減災事業債	10 億 9,330 万円	小 計	16 億 6,180 万円
教育・福祉施設整備事業債	4 億 6,170 万円	一般・特別会計 合計	84 億 4,831 万円
地方道路等整備事業債	4 億 5,078 万円		
辺 地 対 策 債	1 億 9,208 万円		
財 源 対 策 債	1 億 7,198 万円		
公 営 住 宅 建 設 事 業 債	1 億 3,684 万円		
そ の 他	1 億 5,760 万円		
小 計	67 億 8,651 万円		

●臨時財政対策債：地方交付税で補いきれない財源の不足を補てんするため、国から借り入れる資金（100％交付税措置）